

「ビシュケクーオシユ道路地吹雪対策計画」無償資金援助にかかる文書署名式

2021年12月24日、キルギス財務省において、前田茂樹駐キルギス特命全権大使とアルマズ・バクタエフ・キルギス財務大臣との間で「ビシュケクーオシユ道路地吹雪対策計画」（10億3300万円（約910万米ドル））の実現に向けた日本政府無償資金援助にかかる交換公文が署名されました。また、川本寛之国際協力機構（JICA）キルギス事務所長とバクタエフ大臣との間で同計画の実施手続につき定めた贈与契約が署名されました。

キルギスの北部と南部をつなげ、その大部分が山地を通るビシュケクーオシユ道路における雪崩及び雪溜は、道路の視界悪化、渋滞発生等の原因になっており、事故発生のリスクを高めています。本計画は、地吹雪から道路を保護し、ガードレールや道路標識の設置等を通じて冬期における安全かつ円滑な道路交通の確保を目指すものです。

日本は、本計画の実現を通じた重要な幹線道路の交通安全の引き上げにより、国内外への交通の円滑化及びキルギス経済の活性化、地域住民の福祉向上を期待しています。

